



photo by Anneli Salo CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

イレイセン（威靈仙）

語源

センニンソウ属 *Clematis* クレーマティスの由来は、ギリシャ語クレーマティス「蔓(つる)、巻きひげ」から。種小名 *chinensis* は「中国の」を意味し、中国が原産であることを示す。和名のサキシマボタンヅル(先島牡丹蔓)とは、沖縄の先島諸島(宮古列島・八重山列島・尖閣諸島の総称)に多く採られることによる。別名をシナセンニンソウというが、先島諸島は本土の九州よりも、中国や台湾の方がはるかに近い。センニンソウ(仙人草)の仙人とは、種子に長く伸びたヒゲが付くのを仙人に例えたもの。また、生薬名の威靈仙とは「威とはその性が猛なることを意味し、靈仙とはその効力が神速なる意味をいったもの」という。

基原

Clematis chinensis Osbeck サキシマボタンヅル
Clematis mandshurica Ruprecht タチセンニンソウ
Clematis hexapetala Pallas イトクサボタン
 キンボウゲ科

イレイセンが主に中国産のため、昔は日本に自生する近縁種のセンニンソウ、テッセン、カザグルマの根・根茎が、威靈仙の代用として用いられてきた。センニンソウ(*Clematis terniflora*)の根は、生薬名では「和威靈仙」である。



薬用部分

根及び根茎

産地

中国(黒龍江、吉林、遼寧、安徽、浙江、江蘇など)

主な成分

アネモニン、オレイン酸、ヘデラゲニンなど

主な薬効

抗菌、血糖降下、鎮痛

代表的処方

漢方では鎮痛、抗搔痒効果のために用いられる。神経痛、痛風、筋肉痛に加え、関節リウマチ、関節痛といった関節障害に用いられる。

【疏経活血湯】

ソケイカケツトウ

体力中等度で、痛みがあり、ときにしびれがあるものの次の諸症： 関節痛、神経痛、腰痛、筋肉痛
 (処方内容) 当帰／地黄／川芎／蒼朮(白朮)／茯苓／桃仁／芍薬／牛膝／威靈仙／防已／羌活／防風／竜胆／生姜／陳皮／白芷／甘草

【二朮湯】

ニジュツトウ

体力中等度で、肩や上腕などに痛みがあるものの次の諸症： 四十肩、五十肩
 (処方内容) 白朮／茯苓／陳皮／天南星／香附子／黄芩／威靈仙／羌活／半夏／蒼朮／甘草／生姜

【蛇床子湯】

ジャショウシトウ

ただれ、かゆみ、たむし [用法] 水1000mlを加えて濃縮し700mlとし、外用する。
 (処方内容) 蛇床子／当帰／威靈仙／苦参

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

(お問い合わせ) 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562

URL: www.fukudaryu.co.jp

Power of Kanpou